



学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

**学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)**

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する深い問題意識をもつ、自分自身の問題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもつ、そこに積極的に関与してできる人間性豊かな人材を養成する。

**学類のCP(カリキュラム編成方針)**

【2020年度の入学者】1年次には、国際基幹教育院での総合および語学力の向上に集中するとともに、入門的専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に密着し、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2に密着し、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的に、キレキレに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次の1から3にかけては専門科目履修を優先的に履修しつつ、2年次の4から5の演習科目に際して深い関心をもち、3年次の1から2の専門知識および実践力につなぐ。エッセイコンテストもしくはグローバル・イノベーションコンテストに挑戦する。エッセイコンテストでは理論・政策系科目およびグローバル系科目の、グローバル・イノベーションコンテストではマネジメント系科目およびグローバル系科目の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に即して専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に取り組む。演習での研究活動を通じて、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標およびその実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターシップも単位化されている。

学類の学修成果(◎=学習成果を上げるために履修することによって強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

科目番号	授業科目名 (2020年度入学生)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
23210	海外語学研修A	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。								○		○		◎	
23211	海外語学研修B	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。								○		○		◎	
23212	海外語学研修C	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。								○		○		◎	
23220	インターシップ	就業体験を通じて経済学、経営学を実践的に学ぶ	1. 適業の学習と就業体験との結合ができる。 2. ビジネスマナー等一般社会常識の習得ができる。 3. 就業観の形成ができる。												○	○
45100	マクロ経済学II	マクロ経済学に関する標準的な考え方や分析方法を体系的に学ぶ。	1. 標準的なマクロ経済学理論を体系的に身につけ、それを論理的に説明できる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用できる。			◎	◎		○	○	◎	○				
45101	ミクロ経済学 II	不完全競争と市場の失敗について理解する	1. 市場における企業行動の特徴と問題点を理解することができるようになる。 2. 経済政策の考え方を理解することができるようになる。 3. 様々な経済問題を経済学の観点から理解することができるようになる。			◎	◎	△	△	◎	○	○				
45102	政治経済学	資本主義経済の分析にあたって理論的・歴史的(制度的論)・政策的視座を身につけることを学ぶ。	現代背景をしっかりと踏まえつつ、政策的意義や理論のベースの妥当性を考えることができるようになる。							◎	○					
45103	計量経済学	横断面データを用いた横断回帰分析手法	横断面データを用いた回帰分析手法が理解できるようになる。					◎							○	◎
45104	情報科学概論	情報化社会の進展の概要	情報化社会の進展のために、技術、政策、サービスの全体を理解する。			◎		○							○	◎
45105	実験経済学	ミクロ経済学の知識を基盤としてミクロ経済学を学びます。具体的には、実験経済学の理論と実験手法について学びます。	・経済学の理論を再確認し、実験の手法について理解することができる。 ・実験に積極的に参加し、データ解析について理解することができる。 ・自ら問題意識を持ち、実験計画や解析方法を計画することができる。			◎	◎		◎	◎						
45106	都市経済学	ミクロ経済学の知識を基盤としてミクロ経済学を学びます。具体的には、都市経済学の理論と実験手法について学びます。	・都市政策や建築の知識を理解して、説明ができる。 ・ミクロ経済学の知識を取得し、都市経済学の考え方や手法を理解することができる。 ・問題意識を持ち、社会の問題をミクロ経済学の理論を応用して理解することができる。			◎	◎	◎		◎	◎					
45107	金融論	金融取引の増加は人々の暮らしにどのような影響を与えるのか、金融取引と実物市場の関係を探るための基礎として、経済学を応用した金融取引や金融市場の考え方を講義する。	1. 金融の基本的概念を理解することができる。 2. 家計、企業の金融取引について理解を深める。 3. 金融取引における金融機関や金融制度の役割を理解することができる。			◎	◎	◎	○	◎	◎	△	○	△	△	
45108	財政学	現代財政学の基礎	現代の財政問題と理論的に解明するための基礎を修得する。			○	○	△		◎	○	○	○			
45109	公共政策論	財政学の現代的応用	財政のグローバル化など、現代の財政現象を理論的に理解できるようになる。			○	○	△		△		○	◎			
45110	地方財政論	地方財政の財源・経費の構造の背景にある政策枠組みを理解する	1. 国と地方の機能分担・財源配分の考え方を理解する。 2. 地方財政の収入・支出・地方債の構造を知る。 3. 歳入・財源構成の変化の背景にある政策動向を理解する。			○	△			◎	○	○				
45111	地方財政分析論	自治体財政分析に必要なデータ入手と分析方法を学ぶ	1. 自治体の財政データの入手法を知る。 2. 歳入・歳入・地方債等のデータ分析手法を学ぶ。 3. 歳入と財源を関連付けて自治体の財政構造を説明できるようになる。			○	△			◎	○	○				
45112	地域経済学	地域経済学の理論、分析方法、地域政策の歴史	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 地域経済学と地域政策の歴史的な展開を理解する。			○	○	◎	◎	○	○					
45115	環境経済論I	環境問題に対する経済学的アプローチの紹介	1. 環境問題に対するミクロ経済学、マクロ経済学、社会経済学、エコロジー-経済学のアプローチを理解する。 2. 環境問題に対する経済学的アプローチに対し、それぞれの視点の違いを整理し、それらに基づいてアプローチ間の批判的検討を行う能力を身につける。			△			○		◎	◎				
45116	環境経済論II	環境問題に対する経済学的アプローチの紹介(社会経済学、社会システム論・レジリエンス論)	1. 環境問題に対する社会経済学、社会システム論・レジリエンス論のアプローチを理解する。 2. 環境問題に対する経済学的アプローチに対し、視点の違いの意味を整理し、それらに基づいてアプローチ間の批判的検討を行う能力を身につける。この講義では、社会的存在や生活の場としての地域という視点を理解する。			△			○		◎	◎				
45117	環境経済政策論I	環境政策の歴史と原理、手法、主な政策の紹介(公害、地球温暖化・エネルギー)	1. 環境政策の原理を、効率性のみならず環境倫理的・資源制約的視点、そして公正などの社会的視点から理解できるようになる。 2. さまざまな環境問題の発生と克服の過程を社会経済学的に理解できるようになる。			△			○		◎	◎				
45118	環境経済政策論II	環境政策の歴史と原理、手法、主な政策の紹介(貿易と環境、社会システム論)	1. 環境政策の意義を、空間的・地域的視点から理解できるようになる。 2. さまざまな環境問題の発生と克服の過程を社会経済学的に理解できるようになる。			△			○		◎	◎				
45119	農業経済論I	農業問題に対する社会経済学的アプローチの紹介	1. 農業と資本主義発展について、ミクロ経済学・マクロ経済学に触れながら、社会経済学的に理解する。 2. 農産物価格、農業の技術と経営のかかわり、農業立地・フードシステムについて理解する。			△			○		◎	◎				



学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

**学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)**

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身のかかわり課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることで人間性豊かな人材を養成する。

**学類のCP(カリキュラム編成方針)**

【2020年度の入学者】1年次には、国際基督教大学院での総合および語学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2にみよるよう、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次の01からの03にかけては専門共通科目履修を優先的に履修しつつ、2年次Q4からの演習科目に強い関心をもつ。3年次以降は、専門知識および実践力をつけるべく、エッセイ/ケーススタディ/グローバル・マネジメント/ケース/配課される。エッセイ/ケースでは理論・企業系科目およびグローバル系科目の、グローバル・マネジメント系科目はグローバル系科目の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く探究し、調査研究活動や論文執筆等に打ち込む。演習での研究活動を通じて、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターシップも単位化されている。

学類の学修成果(◎=学習成果を上げるために履修することによって強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することによって求められる科目)

科目番号	授業科目名 (2020年度入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
45214	アジア経済史A	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○	○			○	◎		△		
45215	アジア経済史AII	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○	○			○	◎		△		
45216	アジア経済史B I	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1	○			○	◎		△			
45217	アジア経済史B II	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1				○			○	◎		△
45218	日本経済史	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1. 日本帝国主義を含む戦前日本経済の真相を理解できるようになる。 2. 事象を積極的に捉えることができるようになる。	2	2	◎	○			○	△		△		
45219	社会言語学	日常的な日本語から日本社会を見る	日本語と日本社会との関連を見る目を養うことを目標とする。	2	2	○								○	
45220	対照社会言語学	対応する場面で使用される日本語と外国語を比較する。	日本語と外国語の発想性の異同を分析できるようになる。	2	2	○			○					○	
45221	グローバル経済史	長期的、広域的にグローバル化の歴史を学ぶ。	現代におけるグローバル化の歴史的成り立ちを、理論史を視野に入れて理解する。	2	2	○			◎	◎			△		
45300	経営管理論	経営管理理論の潮流	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようにする。	2	2	◎		◎	○	△	○				
45301	人的資源管理論	日本企業の経営管理	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようにする。	2	2	◎		◎	○		○	◎			
45302	経営情報論	企業の組織と情報	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2	2	△	◎		○					○	
45303	経営戦略論	企業経営と戦略	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2	2	○		◎					△		
45304	マーケティング論	マーケティングの考え方や基礎理論を学ぶ。	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2	◎		◎					◎		○
45305	生産システム論	生産システムの概念を総合的視点から言及しながら、次世代へつなげる知的生産システムの基礎理論・手法について講義する。	1. 生産システムの概念と原理について、理解できるようにする。 2. 次世代生産システムの実現のために求められる条件について議論ができるようになる。	2	2	○		◎							
45306	経営工学	生産システムの運用に関わる生産管理の考え方や技法について講義した上、その実例を紹介する。	1. 生産管理の概念と基礎知識について、理解できるようにする。 2. 生産管理の抱えている諸問題を明らかにした上で、その解決のための基本的な考え方や方法論について議論できるようにする。	2	2	○		◎							
45307	情報分析論	情報(データ)分析の方法論	情報分析のための統計的データ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2	2	○	◎						○	◎	◎
45308	簿記会計論	簿記・会計基礎	伝統的簿記実践の基本的構造と機能を理解する。	2	2	◎		○							
45309	現代会計論	複式簿記機構に基づく現行会計モデルの記述・分析	複式簿記の応用的知識を身につけるとともに、現行会計モデルの理論的枠組み、構造、特徴、および課題を理解する。	2	2	◎		○						○	
45310	財務会計論	財務諸表の構造的理解	会計情報の外部利用者として、財務諸表の情報内容について構造的に理解できるようにする。	2	2	○	◎	△	◎	△				○	△
45311	財務分析論	財務諸表に基づく経営分析	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようにする。	2	2	○	◎	△	◎				○	○	△
45312	管理会計論	企業および組織の活動をコントロールするために使われる計数的手段	管理会計が、何によって、誰のために何をやるのかということが理解できるようにする。	2	2	○	◎		◎						
45313	証券市場論	証券市場論、株式会社論	主要国(オランダ、イギリス、アメリカ、日本)の証券市場創成史、国民経済と証券市場との関連について一通り理解する。	2	2	○	○	○	◎	○	△		○	△	△

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

**学類のディプロマポリシー(学位授与方針)**

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身のかかわる課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

**学類のCP(カリキュラム編成方針)**

学類の学修成果(①-⑩)を達成するために履修することによって強く求められる科目、○-①学修成果を上げるために履修することが求められる科目、△学修成果を上げるために履修することが求められる科目

【2020年度の入学者】1年次には、国際経済教育院での給食および猛学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1)に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2)にみるように、各々の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年2回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次のO1からO3にかけては専門共通科目群を優先的に履修しつつ、2年次O4からの履修配当に向け関心をもち、3年次以降に、専門知識および実践につなぐべく、エッセンスコースもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。エッセンスコースでは理論・政策系科目およびグローバル系科目群の、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に制して専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に取り組み、演習での研究活動を通して、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターシップも単位化されている。

1. 幅広い教養を身に付け、国際的に必要な基礎的な考え方や分析手法を修得する。	2. 経済学・経営学を学ぶための基礎的な知識を修得する。	3. 市場経済のしくみと、限定的に政府の役割を必要とすることを理解する。	4. 企業、組織の経済的行動および外国経済事情に対する理解を深める。	5. 国際経済、国際社会の動向および外国経済事情に対する理解を深める。	6. 現代社会が抱える課題を認識し、解決するための知識を修得する。	7. さまざまな経済学理論や政策の形成過程を理解する。	8. 国際社会、地域社会が抱える課題を認識し、解決するための知識を修得する。	9. 将来、社会の一員として働くための意識を高めるとともに、キャリア形成のための基礎を形成する。	10. 課題を発見し、自ら解決する能力を培う。	11. さまざまな情報源から適切な情報を収集し、有益に活用する能力を養う。	12. 社会に必要なコミュニケーション能力、IT能力、プレゼンテーション能力、ディベート能力を身につける。
---	------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------	--	--	-------------------------	---------------------------------------	---

科目番号	授業科目名 (2020年度入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	学年	単位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
45314	証券論	証券市場論、株式会社論	有価証券(株式、債券)と企業金融について理解を深める。また、発展学習である能動的貢献と買収防衛策についても一通り理解する。	2	2	○	○	○	◎	○	△			○	△	△	
45315	コーポレートファイナンス	コーポレートファイナンス	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を演習等を通して体系的に身につけることを目的としている。	2	2				○	○					○		
45316	パーソナルファイナンス	パーソナルファイナンス及びポートフォリオ理論	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を体理解できるようにする。	2	2				○	○					○		
45317	国際会計論	The basic theory of Accounting	This course is designed for students to understand basic principles of accounting for practical use.	2	2	○	◎			◎							○
45318	国際経営論	国際経営論の体系的理解	多国籍企業のマネジメントの仕組みを総合的かつ体系的に理解できるようにする。	2	2	○	◎			◎					○		○
45319	国際マーケティング論	国際市場におけるマーケティング戦略	国際市場におけるマーケティング・マネジメントの現地適応化について理解する。	2	2	○	◎	△		◎				○	○	◎	○
45320	地域マネジメント	地域マネジメントの事例と手法、理論を学ぶ	地域資源の発見、活用、評価という一連のプロセスを理解し、分析できるようにする。	2	2	○								◎	○	◎	○